

知っておこう！

小学生の

携帯電話



上映時間 18分

制作意図

情報発達が進化し続けている現代、携帯電話は必要不可欠なものになってきました。

小学生も例外ではありません。塾や習い事など外出する機会も多く、また小学生が犠牲になる凶悪な犯罪も増え続けています。

そんな“もしも”の時に備えて携帯電話をもたせている家庭も少なくありません。

そこで、小学生が携帯電話を持つ上での注意すべき点や、使用効果など様々な角度からメリット、デメリットを挙げて、小学生が安全に正しく携帯電話使うために守らなければならぬ約束事を解説していきます。

作品の内容

□ 携帯電話を持つようになった要因

塾や稽古事で帰りが不定期な場合や、遠距離通学で電車やバスなど公共交通機関を使う場合に、家族同士の連絡用として携帯電話を持つことが多いようです。

中には、友達がもつていて仲間外れになりたくないなど、安心や安全の為だけでなく、子供同士のコミュニケーションの道具でもあるようです。

本当に必要かどうか、どんな使い方をするのかいろいろな面から親子で確認することが必要です。

□ 携帯電話を持つ時の注意点

どの保護者も不安や疑問な点はあるようですが。よしこちゃんの家では携帯電話を買うにあたりいくつかの約束事を決めました。

約束 1

父親「まず一つ目。バスや電車の中、大勢の人が集まる中など携帯電話が禁止されている場所では扱わない」

よしこ「わかってる！他の人の迷惑になっちゃうもんね」

約束 2

母親「二つ目。道路を歩きながら携帯電話に夢中にならない」

父親「車にひかれるかもしれないしね」

よしこ「はーい」

約束 3

母親「三つ目。おもちゃじゃないんだから無くしたり壊したりしないのよ」
よしこ「わかってる」

約束 4

父親「そして四つ目、電話なんだからお金がかかるっていうのは分かっているよね。だから使いすぎないこと」

よしこ「うん、大丈夫だよ」

母親「この四つの約束が守れなかったら携帯電話は没収よ」

よしこ「はーい」

このように携帯電話を買う時に子供と約束事を決めて、携帯電話の重要性など自覚を持たせることが必要です。

□ 携帯電話と防犯

小学生、子供向けに開発された携帯電話には、GPS機能付の他、防犯ブザーがついていて指定の電話に通知するシステムなど、子供の防犯対策を意識したものもあります。

もし、何らかの犯罪に巻き込まれても、大人でさえ110番する時は慌ててしまします。子供達に携帯電話を持たせる機会に、もしもの時の携帯電話の使い方を教えて練習しておくことも必要かもしれません。

□ 携帯電話との上手な付き合い方

必ずしも小学生に携帯電話が必要なわけではありません。だからこそ、持たせる立場として、携帯電話はおもちゃではないこと、必要以外には使わないなど小学生としての携帯電話のモラルを教えていくことが重要だということになります。

便利さと危険性の両面を持ち合わせている携帯電話、小学生から基本的マナーを身につけておくことはこれから社会全体にとって重要な事かもしれません。

・お問い合わせ・お申込みは

有限会社博映商事

TEL 092-741-0306 FAX 092-741-6628

〒810-0073 福岡市中央区舞鶴1-3-31-220

【HP】 <http://hakuei-shoji.jp> 【E-Mail】 info@hakuei-shoji.jp